ベネズエラ情勢（内政・外交：令和５年４月）

１　内政

（１）　新型コロナウイルス感染症対策関連

	新規症例数	累計症例数	新規死者数	累計死者数	累計治癒数
1日	15名	552,413名	0名	5,854名	546,251名
2日	16名	552,429名	2名	5,856名	546,264名
3日	13名	552,442名	0名	5,856名	546,274名
4日	12名	552,454名	0名	5,856名	546,289名
5日	13名	552,467名	0名	5,856名	546,299名
6日	3名	552,470名	0名	5,856名	546,303名
7日	3名	552,473名	0名	5,856名	546,318名
8日	3名	552,476名	0名	5,856名	546,328名
9日	4名	552,480名	0名	5,856名	546,341名
10日	3名	552,483名	0名	5,856名	546,350名
11日	7名	552,490名	0名	5,856名	546,365名
12日	4名	552,494名	0名	5,856名	546,380名
13日	5名	552,499名	0名	5,856名	546,396名
14日	6名	552,505名	0名	5,856名	546,409名
15日	7名	552,512名	0名	5,856名	546,421名
16日	5名	552,517名	0名	5,856名	546,434名
17日	7名	552,524名	0名	5,856名	546,437名
18日	13名	552,537名	0名	5,856名	546,440名
19日	6名	552,543名	0名	5,856名	546,443名
20日	5名	552,548名	0名	5,856名	546,447名
21日	7名	552,555名	0名	5,856名	546,450名
22日	10名	552,565名	0名	5,856名	546,457名
23日	5名	552,570名	0名	5,856名	546,461名
24日	5名	552,575名	0名	5,856名	546,466名
25日	3名	552,578名	0名	5,856名	546,472名
26日	15名	552,593名	0名	5,856名	546,479名
27日	13名	552,606名	0名	5,856名	546,484名
28日	6名	552,612名	0名	5,856名	546,491名
29日	15名	552,627名	0名	5,856名	546,504名
30日	17名	552,644名	0名	5,856名	546,510名

２８日、ベネズエラ航空当局（ＩＮＡＣ）は、ベネズエラに入国する際の水際対策を全て終了した。

（２） 与野党対話関係

（ア） ９日、野党統一プラットフォームは、米国支部を創設し同メンバーの宣誓式典をマイアミで開催した。

（イ） １２日、「エル・ウニベルサル」紙は、ベネズエラの与野党間の対話を促進することを目的としたコロンビア政府主催の「ベネズエラに関する会合」が２５日に開催される旨報じた。

（ウ） １３日、マドゥーロ大統領は、２００２年４月１１日の政変とそこからの政権奪回から２１周年を記念するデモ行進に参加し、汚職の根絶を誓うとともに、２０２４年大統領選挙を前倒しする可能性に言及する演説を行った。また、１２日、米国務省スポークスマンが、野党側への弾圧が続き、与野党対話が進展しない場合、米国政府は制裁を強化する旨発言したのを受け、内政干渉及び脅迫には屈しない旨述べた。

（エ） ２２日、野党統一プラットフォームは、２５日にボゴタで開催予定のベネズエラ関連国際会合に先立ち、ペトロ・コロンビア大統領と会合を実施した。

（オ） ２５日、コロンビアでベネズエラ関連国際会合が開催され、欧米諸国及び中南米諸国等を始めとした２０か国並びに EU が参加し、与野党対話の推進を含むベネズエラ政治プロセスに関する協議が行われた。

（３） 野党側予備選挙に向けた動き

（ア） １１日、ベンハミン・ラウセオ氏は、野党側予備選挙に参加する旨正式表明した。

（イ） １３日から１４日にかけて、野党側予備選挙委員会は、予備選挙地方評議会評議員の宣誓式典をオンライン方式で実施した。

（ウ） ２８日、野党予備選挙委員会は、全国選挙評議会（ＣＮＥ）と合同技術委員会の会合を開催した。

（４） 反汚職特別作戦

（ア） ３月１７日から展開されている反汚職国家警察（PAN）の特別作戦によって、４月２日までにガイアナ開発公社（CVG）社長やオリノコ製鉄会社（Sidor）社長等を含む４４名の逮捕者が出た。

（イ） ８日、サーブ検事総長は自身のツイッター上で、これまでに６７件の逮捕状が請求され、１４２件の家宅捜索が行われた旨発表した。５日までに、５１名の逮捕者が出ていた。

（ウ） １９日、サーブ検事総長は、これまでに６１名を逮捕し、２０件の執行予定逮捕状があり、１７２件の家宅捜索を実施した旨発表した。

（５） その他

（ア） ２日、グアイド氏は、マドゥーロ大統領が近日中に自身を逮捕することを命じるとの情報に接した旨ビデオメッセージを発信した。

（イ） １３日、体制側国会は、内政委員長をカベージョ PSUV 副党首に交代する旨発表した。

（ウ） １７日、ルセナ前教育大臣が１２日に逝去したことを受けて、オブリタス新教育大臣が任命された。

（エ） ２４日、グアイド氏は２５日にコロンビアで開催されるベネズエラ関連国際会合に合わせてボゴタを訪問したが、翌２５日にコロンビアを出国し、米国マイアミに到着した。

２ 外交

（１） 第１回ベネズエラ・ギニアビサウ合同委員会

（ア） ３日、ピメンテル・アフリカ担当外務次官は、Sambú ギニアビサウ副首相兼内務大臣をヘッドとする代表団を、シモン・ボリバル国際空港で出迎えた。

（イ） ４日、ヒル外相及び Sambú ギニアビサウ副首相兼内務大臣をヘッドとして第１回ベネズエラ・ギニアビサウ合同委員会が開催された。今次訪問中、ギニアビサウ代表団は、ピメンテル・アフリカ担当外務次官等の立会いの下、内務司法省、公共事業省、全国選挙評議会（CNE）高官、人権擁護官と会合を行った。

（ウ） ５日、Sambú ギニアビサウ副首相兼内務大臣は、シモン・ボリバルの亡骸が安置された国立霊廟を訪問し、献花を行った。

（エ） ５日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、Sambú ギニアビサウ副首相兼内務大臣と、戦略的関係の深化及び作業アジェンダに関し、会談を実施した。

（オ） ５日、ヒル外相は、Sambú ギニアビサウ副首相兼内務大臣と、戦略的協力分野に関する１５の合意文書に署名を行った。

（カ） ６日、ピメンテル・アフリカ担当外務次官は、右代表団を、シモン・ボリバル国際空港で見送った。

（２） 第３回ベネズエラ・ボリビア合同委員会

（ア） １９日、ヒル外相は、マイタ・ボリビア外相と会談を実施し、第３回ベネズエラ・ボリビア合同委員会を設置した。

（イ） ２０日、マドゥーロ大統領は、第３回ベネズエラ・ボリビア合同委員会の枠組みでベネズエラを訪問したアルセ・ボリビア大統領と会談を実施し、経済、司法、教育、航空サービス等を始めとした、１３件の合意文書に署名した。会談には、デルシー・ロドリゲス副大統領、ヒル外相、フローレス大統領夫人、並びにマイタ・ボリビア外相が参加した。

（３） その他

（ア） ３日、ベネズエラ政府は、客月３０日にカーン国際刑事裁判所（ICC）検察官が、人道に対する罪に関するベネズエラ側の主張に反論を加える説明文書を公表したことに対し、外務省コミュニケを通じて拒絶を表明した。

（イ） ３日、ベネズエラ政府は、外務省コミュニケを通じて、２日にサンクトペテルブルクで発生した爆発事故を犯罪的且つ正当化不可能なテロ攻撃と非難するとともに、犠牲者に対する弔意を表明した。

（ウ） ３日、ヒル外相は、南部アフリカ開発共同体議員フォーラム（SADC-PF）の食料・農業・自然資源常設委員会代表団と会合を行い、反帝国主義闘争のノウハウを交換するとともに、共同プロジェクトの進展を確認した。

（エ） ３日、ヒル外相は、第５２回国連人権理事会で「一方的な強制措置の否定的な影響」と題する決議案が大多数の賛成をもって可決されたとして、右事実は一方的な強制措置の実施及び行過ぎが人権状況に悪影響を及ぼしているという憂慮の証左である旨発信した。

（オ） ３日、ペニャ・ラテンアメリカ担当外務次官は、マシエイラ駐ベネズエラ・ブラジル臨時代理大使と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（カ） ３日、オランダ領キュラソーとの空路・海路の国境が再開された。

（キ） ５日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、反インフレ中南米首脳会議にビデオ会議方式で出席し、食料分野

におけるインフレが世界の最重要課題である旨演説を行った。

（ク） ６日、ベネズエラ政府は、ハーグ国際司法裁判所（ICJ）が、ガイアナとの国境係争問題をめぐるベネズエラの主張を却下する判決を下したことを受け、本件の有効な解決法を示すのは１９６６年のジュネーブ協定であるとの立場を繰り返し表明する外務省コミュニケを発出した。同日、野党統一プラットフォームは、コミュニケを通じて、右問題にかかるベネズエラの権利防衛に向けた確固たる姿勢を表明するとともに、右権利が弱体化したのはチャベス前大統領及びマドゥーロ大統領の外交政策の帰結であると非難した。

（ケ） ８日、ベネズエラ政府は、中国政府から国際月科学研究ステーション（ILRS）プロジェクトへの参加招待を受けた旨、外務省コミュニケを通じて発表した。

（コ） １０日、ヒル外相は、メリク・バグダサロフ駐ベネズエラ・ロシア大使と会談を行い、戦略的協力アジェンダの進展を確認した。

（サ） １１日、プフ・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、オウジ・イラン石油大臣をヘッドとする代表団を、シモン・ボリバル国際空港で出迎えた。１６日、エル・ナシオナル紙は、右大臣が、テレチェア石油大臣兼 PDVSA 総裁と、石油関連分野における協力拡大に関する覚書に署名した旨報じた。

（シ） １２日、マルドナド青年・スポーツ大臣をヘッドとするベネズエラ統一社会党 (PSUV) 代表団は中国を訪問し、中国共産党代表団と、国民の社会保護の拡大に関し、会合を実施した。

（ス） １３日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、ベネデッティ駐ベネズエラ・コロンビア大使と会談を行い、マネーロンダリングやテロ資金対策に関する地域的取組みを確認した。

（セ） １６日、マドゥーロ大統領は、レイバ・コロンビア外相と、二国間アジェンダの推進に関し、会談を実施した。

（ソ） １８日、マドゥーロ大統領及びヒル外相は、中南米外遊の一環としてベネズエラを訪問したラブロフ露外相と会談を実施した。

（タ） １８日、ヒメネス科学技術大臣は、Wu Yansheng 中国科学技術評議会会長と、宇宙分野に関する二国間協力関係の拡大に関して、会談を実施した。

（チ） １９日、マドゥーロ大統領は、サンペール元コロンビア大統領と、地域統合の再活性化に向けた努力に関して、会談を実施した。

（ツ） ２０日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、サンペール元コロンビア大統領やパティニョ元エクアドル外相等が参加した、域内財政統合ワークショップに参加した。

（テ） ２２日、マルドナド青年スポーツ大臣は、Oleg Matytsin 露スポーツ大臣と、スポーツ分野における両国の協力を促進する協定に署名した。

（ト） ２５日、マドゥーロ大統領は、ゴンザルベス・セントビンセント及びグレナディーン諸島首相と、両国の協力アジェンダにおける達成事項に関して、会談を実施した。

（ナ） ２５日、Giuseppe Yoffreda 駐中国ベネズエラ大使は、習近平中国国家主席に信任状を捧呈した。

（ニ） ２８日、セントクリストファー・ネイビスを訪問中のヒル外相は、ドリュー・セントクリストファー・ネイビス首相と、二国間協力の戦略推進に関して、会談を実施した。同日、ヒル外相はダグラス同国外相と、二国間関係の強化に関して会談を実施した。

（ヌ） ２８日、コロンビア・ククタのベネズエラ領事館が再開した。

（ネ） ２９日、プフ・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Lan Hu 新駐ベネズエラ中国大使の到着を、マイケティア国際空港で歓迎した。